

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] ウロキナーゼ供給不足が膿胸診療に与えた影響

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 稲葉龍之介 (呼吸器内科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2024年9月26日～2025年3月31日

目的：2022年5月からのウロキナーゼ(ウロナーゼ®)供給停止が、膿胸の保存的治療へ与えた影響(外科手術への移行率・転帰)を調査する。

方法：カルテ情報を用いた後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2019年4月～2024年7月に当院で膿胸の治療を受けた方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：研究対象者について、以下の臨床情報を診療録から取得する。

- ① 臨床所見 (年齢、性別、身長、体重、入居前住居、病歴に関する情報)
- ② 臨床検査結果 (血液生化学 ; Alb、BUN、CRP、胸水検査 ; 性状、pH、LDH、糖、培養結果)
- ③ 胸部画像検査所見 (胸部単純X線写真、胸部単純CT検査、胸部造影CT検査)
- ④ 胸腔ドレナージ詳細 (胸腔ドレーン留置期間、トロッカーカテーテル径、胸腔洗浄、ウロキナーゼ使用状況)
- ⑤ 転帰 (胸腔ドレナージ術開始から呼吸器外科紹介までの日数、入院期間、退院先、転帰)

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

呼吸器内科 稲葉 龍之介

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971